

安曇野市教育委員会 9 月定例会会議録

日 時；平成 24 年 9 月 24 日(月) 午後 2 時
場 所；中部学校給食センター 2 階会議室

出席者

教育委員：委員長 古幡開太郎、職務代理者 野本教子、委員 内田洋子、委員 望月正勝、
教育長 丸山武人

事務局：教育次長 西澤泰彦、学校教育課長 下里利行、学校給食課長 高橋正光、社会教
育課長 赤羽孝明、文化課長 三澤良彦

書記：学校教育課総務係長 白澤勇一、教育総務係 横山幸子

◎開 会

教育次長 ただいまより安曇野市教育委員会 9 月定例会を開催したいと思います。よろしくお
願いします。

それでは、委員長よりごあいさつをお願いしたいと思います。

委員長 [委員長あいさつ]

◎協議議案

教育次長 それでは、協議内容に入ります。これより委員長より進行のほうをよろしくお願
いしたいと思います。

委員長 それでは、お手元に本日の議案がございます。いつもですと協議案件がたくさんある
んですが、9 月ということで協議案が少のうございます。報告事項が多くなっておりませんが、
今日こういう時間でございますので効率的に進めたいと思いますので、ご協力をお願いいた
します。

◎協議議案第1号 後援・共催依頼について

委員長 それでは協議案件ではありますが、協議議案第1号 後援・共催等の依頼について、社会教育課、赤羽課長、お願いいたします。

社会教育課長 今回、後援依頼が社会教育課の関係で3件ございます。

[資料説明]

No. 151 あづみ野テレビカップ争奪安曇野リトルリーグ第2回ティーボール野球大会
堀金少年硬式野球協会より後援申請

No. 158 2012どんぐりまつり NPO法人Gland-Richeより後援申請

No. 165 『内部被ばくを生き抜く』上映会
子どもの未来を守る会安曇野より後援申請

[後援申請3件について審査]

全て異議なく承認された。

◎報告事項

(1) 後援依頼の教育長専決分の報告について

委員長 それでは、報告事項に入らせていただきます。

(1) 後援依頼の教育長専決分の報告についてということで、教育長に専決いただいた後援依頼につきましてご報告をいただきます。

では、下里課長、お願いいたします。

学校教育課長 それでは、今月の後援依頼の教育長専決分の報告でございます。

[資料説明]

以上、全22件でございます。

委員長 ありがとうございます。

今、教育長専決分、ご説明をいただいたとおり、過去に承認分を含む22件についてご報告をいただきました。ここで逐一確認をしていきませんが、全体を通してご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。

主にスポーツ、文化活動、こういったものが中心となった22件の専決でございますので、内容的に野球ですとか、参加費の高いものはありますが、1チーム1万円ということで、こ

れも全体から見れば個別1人当たりに考えるとそう高くはないものになってくるということになりますので、特に内容的に問題ございませんので、このご報告についてはこれで進めさせていただきますということによろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 ありがとうございます。

それでは、今、後援依頼、教育長専決分の報告をいただきましたが、この後、生徒児童の区域外通学になるんですが、その前に、もしその他の項目でご報告いただける項目がございましたら、先に処理をして、それから非公開に入ろうと思うんですが、差し支えないものがありましたら、お願いしたいと思いますが、よろしいですか。

その他の項目の市町村教育委員会の研究協議会（岩手会場）の件、それから女性教育委員連絡協議会中南信ブロック研修会の開催、この辺につきましてここで先にご報告いただいて、その後非公開に入りたいと思いますが、よろしいですか。

(8) その他

- ・平成24年度市町村教育委員会研究協議会（岩手会場）の資料提供について
- ・平成24年度長野県市町村女性教育委員連絡協議会中南信ブロック研修会について
- ・第56回長野県市町村教育委員会連絡協議会研修総会等について
- ・新聞記事紹介
- ・堀金学校給食センター職員からのノロウイルス検出について

委員長 では、全体を通して何かご質問ございましたら、お願いしたいのですが、よろしゅうございますか。

(「なし」の声あり)

委員長 ありがとうございます。

それでは、議事関係を前後させていただきましたが、これで協議事項と一部報告事項を終了させていただきます。

これから休憩をいただいて、その後24年度児童生徒の区域外通学者について、非公開でやらさせていただきますので、よろしくお願いたします。

では、暫時休憩とさせていただきます。

(休 憩)

委員長 では、再開したいと思います。

(以後、秘密会)

(2) 平成24年度児童生徒の区域外通学者について

(3) 教育長報告

(9) (仮)安曇野市文化のかおるまちづくり条例について

(以後、公開)

(4) 学校教育課報告 [資料説明]

委員長 今、学校教育課からご報告がございました。何かご質問はございますか。

9月の報告の中の中学校部活動運営委員会の関係ですが、今、中学校の部活動と社会体育との関係ですね。何かの機会にこれが今どんな具合になっているのかということや、色々なところでうまくいっているところと、それから例えば顧問の問題ですとか色々なところがちょっと1回整理をしてから考えておく必要があろうかなと思いました。私もこれまで社会体育と部活動はどんな関係になっているのか、正直なところ余り知らなかったんですけども、やはり教育委員会としてはその辺のところを1回議論しておく必要があろうかなと思いますので、またいつか機会を見て報告いただくような、また、校長会ですとか、そういったところの関連もありますので、軽々には扱えないと思いますけれども、ひとつよろしくご配慮いただきたいと思います。

学校教育課長 わかりました。

望月委員 ちょっといいですか。

委員長 お願いします。

望月委員 望月ですが、今の委員長さんのお話にちょっとかかわるのですけれども、課題についても話し合われたわけですね。ここで知っていて構わないことがあったら、簡単に説明をお願いします。

学校教育課長 中学校の部活動、それから今、委員長がおっしゃった社会体育の活動もなかなか

か線引きと申しますか、その区分けが非常に難しいところでございます。これは本年度に限らず、過去にもこういう議論についてはやってきたんですけれども、なかなか方向性が出せないということの中で、今正直いってそこでとまっております。

県のほうも部活動、あるいは社会体育との、特に学校の教職員の先生方の関係もでございます。今年度、県のほうで指針を出すということになっているわけです。今後の県のほうの対応の指針を見ながら、安曇野市もやはり今後の方向づけをしていかなければいけないのではないかと考えております。この第1回の部活動運営委員会の中では今までの議論に終わってしまいまして、より踏み込んだというものがなかなか出せなかったわけでありまして。先ほど委員長がおっしゃったようにさまざまな学校現場の中で部活動と社会体育の保護者の役割、あるいは先生方の関わり、色々な中で課題、問題点があろうかと思っておりますけれども、なかなか一言では片づけられない色々なものが発生しております。まず、先ほど出ましたようにそういう問題点の課題を整理していかなければいけない。そして部活動の顧問の先生が各学校で、例えば今やっという顧問の先生が替われば、その学校の部活動は変わってしまうというところがあったり、また、社会体育の面でも色々どこまでどの範囲で認めるかということもありますし、なかなかここでという難しさがあると思っております。いずれにしても、先ほど申しましたように県の指針を見ながら、今後安曇野市も深めていきたいと考えております。

委員長 よろしいですか。

望月委員 ちょっと私の感想というより、今までのあれなんですけれども、非常に難しい問題で、これについては県の動向で、基本的な動向だとか大会の運営だとか色々関わってくるものですから、市独自でもって結論を出すことはかなり難しいと思うんですよね。ただ、部活動というのは目的とかもきちんとあつたりして、例えば生徒指導の問題でこの頃の事情は変わりましたが、昔は放課後子どもたちが全部町中に放されると、万引きや暴力事件は増えるとともに心配した時期もあるんですけれども、この頃ようやく家庭がしっかりした部分もあつて、どうなっているかということも考えられるし、ただ中学校の先生方の教育活動の面では非常に負担が多くなってしまつて、教材研究だとかそういうことも非常に難しいですよね。それから大会の各学校の強さ、弱さというのは人事による職員配置でもって全然変わってきてしまうことだとか、非常に課題の多いものなんですけれども、今お話しいただきましたように、県の指針が出されたりとか、そういう中でもって少しでも改善できれば改善していけばいいけれども、いいものができれば、安曇野方式のようなものができると

いいじゃないかと思うんですけれども、ぜひ色々そういった情報なんかもまた流していただきながら、みんなで考えていく問題ではないかと思うんです。結論だつて出さなければいけないのではないかと思いますよね、もう何十年と続けて話をしているもので。

委員長 教育長。

教育長 今言われたように、長い間これについては協議しているんだけど、ぴしっとした線が出てこない。つまり県のほうでの指針を今度出すというんだけど、恐らくまた中体連としっかり話し合っはきいていると思うんだけど、中体連の行き方と、それから県の行き方とはやはずれが出てきてしまう。いわゆる部活でやる学校クラスと社会体育のクラス、これが責任の所在、問題、それから、指導者の問題、それから、色々な面での費用その他の運営の問題、こういうふうに行くと言っても、どうしてもそこから外れていってしまうという。部活の中でやっていた指導者がそのまま生徒も同じ、先生も同じ、ただ切りかえて社会体育に変えたというだけでいっているようなところもあつたりして、非常に難しいのですが、今度どういうふうな指針を出してくるかということなんですが、中体連と県教委で十分話し合ってそこをそろえていかないと、また安曇野市だけでというわけにもいなくて、全県である程度本当にきちっとそろえていかないと、というところがありますが、ちょっと時間がかかるような気もいたしますし。

委員長 我々としては安曇野市の各学校がどうなっているか、ここのところはちょっと認識しておく必要があろうかなと思います。正直なところ、例えばオリンピックまで、一方では学校の特徴をつくりなさいと言って、学校の特徴、社会体育も部活動も実はそこから優秀な選手たちが出ていっているような、そういう現状があるんですけれども、そこが一番ぐらついていると最終的には文化振興、あるいはスポーツ振興という面からいって、一体どういう具合が一番根幹がなっているのかということです。その辺の意味で大切な時期に入っているかと思ひますけれども、また整理をし始める必要があろうかと思ひますので、あえてご提案申し上げます。ありがとうございました。

特に、よろしいですか。

内田委員 そうですね、今保護者のほうが結構学校に対して、クレームではないですけど、もうちょっと部活をやってほしい、練習時間を増やしてほしいという保護者がいる反面、ちょっと練習時間が多過ぎるのではないか、土日も出ていって、勉強する時間もないという二極に分かれています。確か学校のほうでも時間だとか、水曜日は放課後の部活をやらぬとか、やっはいるんですけども、保護者会のほうで部活ができないよりも、社会

体育として練習をやらせてくれという保護者会もあったりするんですね。

その部活の時間を減らしたから学力が伸びるということでもないと思うんですけども、そこら辺が難しい問題で、先生方の休日のとり方とか、そういうことを考えるとかけ過ぎはいけないのかな、県の指針を待って統一していかないと、どうしてもあの学校には負けたくないから、うちの学校は練習時間を増やしてでも次の大会は勝つんだという感じでエスカレートしていつてしまっていると思います。なのである程度、さっきも触れたように安曇野市で統一して時間を決めるなり、休日の練習時間、かけ過ぎないように線を引いていく必要があるかなと思っています。

今朝のニュースだったと思いますが、東京でしたか、今中学校の部活動が変わりつつあるというようなことを言っていたんですが、保護者がお金を出して外部のコーチを雇って練習をさせるという方向に変わってきているんだということをちらっと言っていたのを耳にしたんですけども、それとまた、この学校はこうだという特徴を出すと、よその学校も、ではうちもそうしようというふうにエスカレートしていくと思いますので、そこら辺はしっかり統一したほうがいいのかと思います。

委員長 その辺になってくると中体連の考え方、基本の考え方になってくると思うんですね。

色々な問題点もございますので、1回また今の状況を報告いただいて、では解決方法はなかなか難しいかと思えますけれども、とりあえずの現状を認識させていただく機会をできるだけ早期にもっていききたいという具合に思えますので、ぜひお願いします。

よろしいですね。

それでは、学校教育課、そのほか質問がございましたら、終わらせていただきます。ありがとうございました。

(5) 学校給食課報告 [資料説明]

委員長 学校教給食課に質問ございますか。

(発言する者なし)

委員長 今特に学校給食の食材の放射線測定結果の報告をいただきましたが、この近隣の松本市ですとか、その他の市町村のこの測定についても特に大きな変化はございませんか。

学校給食課長 特にこういうものがあつたというようなことも聞いておりませんし、やはりこの前決算議会の中で、今後加工品ですとか魚ということも言われております。魚につきましてはそろそろサンマが南下してくる時期ということで、北海道産でしたら一応対象外という

ことですが、三陸沖等でとれるものが出てきた場合には測定したいと思っております。

また、この表では9月12日、鶏肉、それから裏の8月24日、やはり鶏肉、これはブロイラーではありますけれども、岩手、山形、一応測定対象地からきております。この辺のところも該当するものがあれば測っていきたいと考えております。

委員長 ありがとうございます。

特にご質問、その他ございませんか。

(発言する者なし)

委員長 ありがとうございます。それでは学校給食課、これで終わらせていただきます。

(6) 社会教育課報告 [資料説明]

委員長 よろしいですか、ありがとうございました。

それでは、社会教育課からご報告いただいた9月の事業報告と、それから10月の予定についてご質問ございますか。

これは全てということはないですけれども、例えば「水が織りなす安曇野今昔物語」の講座が5回開かれていますね。それから、「アルプスが育む安曇野の四季」の講座が7回開かれています。特に安曇野に関するこういう講座というのは、一般の安曇野の中で活動されている方も多いですけれども、この講座、DVDに撮影して、例えば交流学習センターにその部分だけ置いておく、そういうような活動はできないものかなと思います。というのはそこだけ聞いて、安曇野検定ですとかそういったものって、そういうものの中ですごく参考になるものが出てきたり、あるような気がします。

社会教育課長 ここで使っている資料につきましては、全て市のホームページの中に載せてございます。それを引き出してもらって、市民の方に勉強していただくという、資料自体はホームページの中に置いているんですが、映像にしてというところで……

委員長 例えばダニエル・カールさんですとか、ああいったことになれば、その映像を使うこと自体がほとんど禁止されたり、それはできないにしても、特に安曇野の地域の方々が話すのは記録としても有意義です。私はよくセミナーに行きますが、今までの過去のセミナーのものがDVDで、正直なところ1本5,000円ですとか4,000円ですとか、それを売っていますので買ってきて、どうしても必要なものについてはそこからノウハウを得るみたいなものはあるんですけれども、せつかく市民のためにやっているの、恐らく参加者が30人ですとか40人、そのくらいの回が多いと思いますので、ぜひ……

社会教育課長 いえ、人数としては結構多いですね。

委員長 いや、それが100人だとしても、ぜひそんなようなのが、もし今後将来的に工夫ただけたら、素人ビデオでも構わないんですけども、撮っていただいて、そんなようなこともぜひ工夫していただけると、だいぶ安曇野市の財産が増えるのではないかと思いますので、またぜひご報告をお願いします。

社会教育課長 研究してみます。

委員長 何かほかにご質問等ございますか。

(発言する者なし)

委員長 ありがとうございます。

社会教育課長 その前にもう1件、社会教育課の関係でよろしいでしょうか。

委員長 お願いします。

社会教育課長 社会教育課でもう1件お願いしたいと思います。県民豊科運動広場の改修工事の関係でございます。

これにつきましては今年度拡幅改修計画をしているわけでございます。その中、年度当初より実施計画を行ってきました。その計画ができましたのでご覧をいただきたいと思います。どうしても土地だけになるものですから、こういった資料しかございません。建物のように平面図だとか立面図だとか用意できればいいんですけども、土地だけの改修でございますので、こんなものでございます。

赤い枠の中をご覧いただきたいと思います。右側のほうでございます。小さい囲いがある、これが駐車場の関係でございます。一応昨年度6,000平米ほど拡張、土地を買収することができましたので、このような形で改修するというものでございます。その中で小さい赤の枠でございます。ここが駐車場部分でございます。約300台の駐車場ができるようになります。

また、その隣に野球の絵がかいてあります。そこにダイヤモンドがあるわけでございますけれども、北側のほうと、バックネットとこのダイヤモンドが約40メートル北のほうに移動になります。これをする事で、民家のほうにボールが飛んでいかなくなります。人家の車等を傷つけることがなくなるということでございます。

南側のコートにつきましてはそのままでございます。

それから照明の関係です。当然グラウンドが北側のほうに寄ったという内容でございます。照明につきましては移設が必要になります。また新設も必要になる、そんな状況でございます。

それから外周の道路の関係でございます。これにつきましては都市建設部のほうで改修をしていただくわけでございますが、拡幅ができるということで、グラウンド側に入って道路を拡幅したい、こんな考え方でございます。したがって、道路の用地買収はしなくてということで行いたいと思っております。また、この道路の改修に伴いまして、現在植わっております樹木、また、フェンスの関係につきましても改修が必要になるというところがございます。これをやることによりまして、駐車場の問題、大きな大会をやるときに不足しているというような問題も解決をしますし、ある程度の大会がここでできるかな、そんな工夫もでございます。

今後の予定でございます。一応実施設計、このようにできてきましたので、これから業者選定、それから、入札、議会議決、工事着工というようなことで工事を進めていきたいと考えております。完成でございますが、来年9月、年度を繰り越してということと予定しております。

こんなことで県民運動広場の改修が進んでおりますので、報告をさせていただきます。

私のほうからは以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

今お示した豊科運動広場拡張拡幅工事、これについてご質問ございましたら。

これは赤羽課長、夜間照明がつく照明ってどこに設備されますか。

社会教育課長 今がちょうどダイヤモンドのやや南側にあります。ダッグアウトのまだ南に照明があるんですけども、これについては残したいと思っております。ただ、北側、駐車場との境、これが大体、ダイヤモンドのちょうど真東あたりに2基ほどありますので、これはもう移設をしなければいけないと思っております。北のほうへ。

委員長 特にグラウンドの照明で一番気をつけなければいけない点というと、実は有明のグラウンドがありますよね。

社会教育課長 はい。

委員長 あのグラウンドを見ていただくと照明のポールがフェンスの中に入っています。実は野球ですと本当はポールはフェンスの外にあるのが、ジムですとかスポーツ公園のあるべき姿とってはおかしいのですが、事故が少ないというのですか、実は有明の運動場のものはグラウンドのフェンスの中にポールがあるものですから、どうしてもそこで危険性があるということで、何とかその辺のところをうまくフェンスの外に出すような設計をしていただけないかという意見をかなりもらっています。その辺のところを、プロのグラウンドを整備し

ているところが設計するとそういうところには入れないというんですけれども、そこは確かかどうかわかりません。せっかく作るんでしたら、選手が走って行ってポールにぶつかったとか、そういうのがないような配慮をするようにお考えいただければと思います。かと言って、全部今あるものを無理やり移築するというのもそれもなかなか難しいとは思いますが、新たにやるなら、そのような工夫をしていただきたいなと思います。

社会教育課長 今現在はグラウンドの中。

委員長 中ですよ。

社会教育課長 はい、ちょっと外には出せない状況です。

委員長 だから、これはぜひ野球をされる人に意見を聞いてもらおうとわかりますけれども、走って行って、そこにポールがあるかないかでは全然違うというんですね。そのようなご意見も、穂高の体協の会長からもかなり強く言われまして、作るんだったら安曇野市教育委員会、考えてくれと。こういうような機会がありましたら、せっかく作るのならそのようなご配慮をぜひお願いしたい。

教育長 穂高西中のグラウンドもそうですよね。

委員長 あ、西中もそうですよね。特に学校では怖いなと思いますね。

社会教育課長 ちょっと設計のほうと。

委員長 土地の関係もあるかと思いますし、そういった配慮をしなければいけないですが、ちょっとそういう意見が特に野球をされる方からは強く要望されていることは申し上げておきたいと思います。よろしくをお願いします。

そのほか何かございますか。

(発言する者なし)

委員長 ありがとうございます。

では、社会教育課はよろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

(7) 文化課報告 [資料説明]

委員長 ありがとうございます。

文化課からご報告をいただきました。何か質問ございますでしょうか。

(発言する者なし)

委員長 これは三澤課長、例えばミュージアムギャラリートークリレー、10月1日から10月31

日にありますよね、それから、お祭りのイベントがありますよね、こういったものの市外への広報というところのようにとられていますか。

文化課長 ギャラリートークにつきましてはホームページには掲載してございます。お祭り展もそうです。それから、トークに参加する館がございまして、その館による発信をしてございます。それとももちろん市民タイムス、あるいは信毎にお願いして記事にさせていただいて、先ほども記事にも出てございましたけれども、随時出していただいております。

委員長 実は安曇野を中心とした松本、安曇野、白馬にかけて日本全国の中でも美術館の数って北海道に次いでたしか多かったエリアなんですね。そういうエリアの中で12館、実は市内に12館あるというのは1つのパワーでもあって、そういったものは正直言って市民タイムスばかりではなくて、もし商工観光部や雑誌ですとか、そういったもので何かオープンになるものがあつたら、できるだけこういったものは情報を発信すると、文化は本当に発信の方法によって集まる人々が変わってきますし、人々が集まればまた情報が伸びてくるという相乗効果が得られますので、ぜひその辺のところを…せっかく補助金までいただくお船祭りのイベントなんかも、もっと全国に発信してもいいなという気がしますので、そういった工夫をぜひさせていただいて、安曇野市内ばかりでなくて、全国の中から人を集めるような工夫もぜひお願いしたい、そういう素材があるはずですので、職員の人にもそういうノウハウを持っている人がたくさんいますので、ぜひ活用をお願いしたいと思います。

望月委員 私もそれに賛成ですけれども、ギャラリートークのほうは私もイメージがわからないもので申し訳ないですけれども、前回のお祭りの、文化財の関係で否定的な意見を言って申し訳なかったと思いますけれども、あの中で、いわゆる文化財の掘り起こしというようなことが話題になっていますが、お祭りなどのことについては、うちの近所にも熱心な人がいるんですが、聞いてみても全然知らないんです。それで市民タイムスと信毎に大きく載っていますね。この教育委員会の後で、4年くらい前かな、補助金をもらってお船を作ったのです。色々な政教分離の問題なんかもあつたんですけれども、何とかクリアさせていただいて、それは何かというと、いわゆる宗教としてではなくて、文化財としての意味づけでもあつたのですけれども、安曇野のお船というのは非常にインパクトもあるし、そこらじゅうにありますけれども、四十幾つというのが安曇野市だけでもお祭りに対する色々なわからない部分があつたり、血がわいているような人がいっぱいいるんですよね。ぜひこれからでは無理かもしれないですけれども、500万円のあれがつくから、全国にポスターを作って発送するとか、そういうことをやると非常に、本当にこういうものって少ないと思いますので、市全体

のものを網羅して、それに関連づけてやるとか、それから体験まで出ているもので、私も期待したいと思うし、それがさっきも話した文化のかおるまちづくりなんかにも1つの起爆剤になってくるような気が自分なりにはしています。だから、やれる限り、大いに生かしていただければ、市民タイムスや信毎の記事でも期待感が強い感じで私は受け取りましたけれども、以上です。

委員長 ありがとうございます。ぜひ……

文化課長 穂高の船の曳航する人を募集するというのがまた市報にも出ますので、そのようなことを通じてPRしていきたいと思います。

委員長 8月の「芸術新潮」は実はいわさきちひろなんですよ。ああいう「芸術新潮」ではないですけども、安曇野というそういう特集を組ませるくらいの素材を提供できるような、そのくらいのものがあれば本当に面白いと思うんですけども、やはりそのくらいの仕込みをしていってもいいだけのものはうまくやればあるかなという気がするんですけども、ちょっと高望みかもしれませんが、ぜひご一考いただきたいと思います。

それでは、各課からのご報告、これで終了させていただきますが、何か引き続いてご報告事項、あるいはご提案がございましたら、お願いします。よろしいですか。

(「いいです」の声あり)

委員長 では、事務局の諸連絡は特によろしいですか。

それでは、これで9月の定例会に予定していました議題をすべて終了しましたので、事務局にお返しします。ありがとうございました。

◎閉 会

教育次長 以上をもちまして、9月の教育委員会定例会を終了したいと思います。どうもお疲れさまでした。